



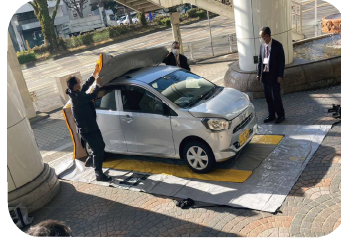
2023年3月
No.453号

波紋

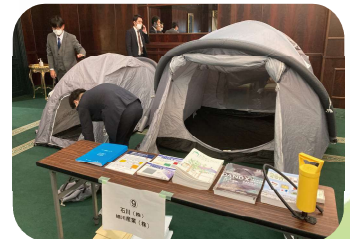
創刊 1985年(昭和60年)

PrintDoors2023

最新の印刷・製本関連の機材を展示し、
印刷業界の抱える各種課題を解決するソリューションを
ご提案する総合展示会です。



"GO TO" exhibition

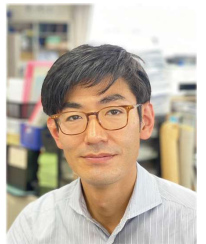


TENT EXPO AICHI 2023

テント業界を牽引する23社&1団体が最新の機材を、
実演を交え展示・ご紹介する展示会です。

AI と人間

森 直樹（代表取締役社長）



AIの「チャットGpt」がリリース後2ヶ月で1億人のユーザー数となり、アプリ史上最速のユーザー数増化となりました。何がこのAIのすごさかという点、即興的に対話ができるということです。そして小説や詩、はたまた大学の論文まで書くことができ、人間らしく発言するという機能を持っています。ただ欠点として、もっともらしいことを書くが内容の正確性は場合によりけりとのこと。それも今後修正されていくものでしょう。現在でもウェブサイト上にチャットボットという自動応答の問い合わせサービスはありますが、これがもっと普及すると業務的にも簡単な問い合わせはAIで対応が可能になり、問い合わせる側も24時間対応できるAIの方が利点は多いでしょう。そして人間にできる仕事の部分は相手の要望をいかに汲み取るか。お客さんの表面上に出てこない要望を具現化するのが人間の仕事です。対面や電話での対応で声のトーン、これまでのやり取り、等々でその人に合った提案をするのが人間の仕事です。もちろんそれは経験と感性のなせる技術ではありますが、AIと人間どちらもお互いの利点欠点を埋め合っていくことで、結果として企業がこれまで以上のサービスが提供できる。これがAI時代の商売に期待できることではないでしょうか。

ガラ紡 見学&体験ツアー

安井 浩二（企画営業部）



ガラ紡ってご存じですか？ガラ紡とは明治初期に日本で発明された紡績（糸継ぎ）機械のことで使用の際にガラガラという大きな音から、ガラ紡と呼ばれています。先日、TVで全国でも数少ない、現役で動いているガラ紡機を稼働させている一宮市の木玉毛織（株）さんが紹介されていました。興味を示しHPを閲覧したところ、工場見学&ガラ紡体験ツアーが紹介されており、面白そうなので参加してきました。木玉毛織さんは、明治28年創業の会社です。もともとウールの産地尾州にて長年ウールの婦人服地製造に携わって参りましたが、現在は毛織物からは撤退し、ガラ紡を使ったモノづくりを始めたのは、今から15年ほど前で、あるご縁によって廃業した豊田市の工場から機械を譲り受けたことがきっかけでした。さて、糸を作るには綿（わた）を引っ張りながら、撚りをかけます。昔は糸車を手作業でおこなっておりましたが、ガラ紡機は、そんな糸車でやっていた手作業を動力化したものです。稼働しているところを見学すると、なるほど名前の由来どおりガラガラと音を奏でておりました。体験では、円柱状に整えられた綿（わた）を、撚り子（よりこ）と言うそうで、それを竹でできた道具（込み竹）に、筒状の綿を入れて、そのままガラ紡機の筒に、奥まで詰めていきます。そのあとは、回転している筒の中に、上から繋がっている既に出来上がった糸を垂らせば、綿（わた）に撚りがかかり、そのまま糸として巻き上げられていきます。単純だけど、よく考えられたものと感心し糸車と比較すれば、当時は画期的な機械と感じました。しかし、



ガラ紡が発明された後、西洋式の紡績機が日本にも導入され、現在国内にあるほとんどの紡績工場では大量生産に対応できるスピードの紡績機のみが使われ、ゆっくりと時間をかけて紡がれるガラ紡機は数えるほどしか見られなくなったそうです。童謡の大きな古時計ではありませんが、現役で稼働している姿を見ると愛しさも感じます。見学後にはお土産としてガラ紡の不揃いの糸でできたハンカチを頂き、どこことなく、ぬくもりとやさしさが伝わる気がしました。興味本位で見学しましたが、繊維の歴史を学びながら貴重な体験ができたと思います。

映画

吉岡 孝記（営業部）



今年に入り、よく映画を見に行くようになりました。年に何度かは見に行く事はありましたが、今年はまだ3回映画を見ました。車で10分ぐらいの距離に映画館が有り、（イオンシネマですが）55歳を超えると1100円で見ることが出来る。食事をする時も、半券を見せると少し安くなったり、ジュースが無料で付いたりもします。結構お値打ちです。最近結構面白そうな映画がたくさんあり、邦画ばかりですが、ドクターコトー診療所とイチケイのカラス、レジェンドオブバタフライを見ました。楽しく拝見しました。映画業界も最近はかなり興行収入も上がっているようで、1位「東宝」で1919億円、2位「東映」1076億円だそうです。これもアニメの影響がたくさんあると思います。今年もONE PIECE FILM REDが197億円、去年は劇場版「鬼滅の刃」無限列車編が歴代最高だった千と千尋の神隠し316億円を抜き、404億円の興行収入トップになったそうです。一時ブームになりました。私も見ました。現在日本製アニメの世界シェアは60%を超えているそうです。ヨーロッパでは放送されているテレビアニメのうち80%が日本製だそうで、映画やテレビだけでなく、漫画も人気で、海外の本屋には「MANGA」の棚が並んでいるようです。日本のアニメとそこから派生する関連市場の統計が過去最高を更新し、約2兆7400億円にもなったそうです。すでに一大業界ですねビックリしました。これからますます伸びる産業だと感じます。何年か前は放火事件とか悲しい出来事もありましたが、いつの日かアカデミー賞を取るような作品が出来ることを心待ちにしています。邦画かな、アニメかな、また、今月も映画館画通いが続きそうです。

プリキュアと娘

大石 耕平（東京オフィス）



私の中から一つ大切な時間が失われた。娘が、プリキュア卒業した瞬間だった。思えば、娘が最初に見たプリキュアは、3歳の時「キラキラ☆プリキュアアラモード」でした。最初は私のヒザの上、そして隣で一緒に笑って見てくれる様になりました。はじめて観たプリキュア、その衝撃は計り知れないものがあったのでしょうか。それまでは、父ちゃん、母ちゃん、アンパンマンだったのが、プリキュア、父ちゃん、母ちゃんになりました。父ちゃんの優先順位が下がったのはちょっと寂しかったけど、娘といっしょに、時には真剣に、時には笑いながら一緒に楽しむ日曜日朝8:30は私にとって特別の時間になりました。娘が生まれて初めて一緒に映画館で観た映画は「映画 HUG っと！プリキュア ふたりはプリキュアオールスターズメモリーズ」でした。プリキュアの映画では映画館で小さなライトを貰って劇中、プリキュアがピンチになるとみんながその”ミラクルライト”を振ってプリキュアを応援するんです。映画冒頭、タルトと言う妖精が劇場の子供達に、プリキュアがピンチになったらライトを振って応援するように頼みます。娘も「よし、まかせとけ」とばかりにうなずいています。そして劇中終盤、プリキュアがピンチになります。キュアエールが劇場の子供たちに、「みんなの力を貸して！」って呼びかけます。隣に座っていた娘もライトを光らせ、それはそれは精いっぱい声でプリキュアを応援し始めました。「プリキュアーがんばれー」って。同じ様な声が、後ろからも、前からも。横からも。プリキュアを応援する沢山の子供たちの声。何の打算もない、純粹に「大好きなものを応援したい」という気持ちの塊でした。その思いがピンク色の小さな光の集合となり劇場一杯に灯り、揺れていました。それはそれは幻想的な光景で33歳の私は感動に包まれたことを覚えています。映画はプリキュアのピンチの末、悪者を浄化しました。勝利したプリキュアを観た娘もどこか誇らしげな顔です。映画が終わって、娘とふたり手をつないで劇場を出ると、映画中に買い物を済ませた母が出口に迎えに来ています。母を見つけるやいなや駆け寄って、「私かね、応援したからね、ピーチかね、勝ったよ!!!」、って一生懸命説明していた娘。思えば「誰かのために何かをするということの大切さ」を初めて教えてくれたのもプリキュアだったのかもしれない。それからしばらくの間、劇場でもらったミラクルライトは娘のお守り代わり。ぎゅっと握ったミラクルライトのおかげで予防接種の注射も5粒の涙ですみました。夜、電気が消えた部屋のふとんにもぐりこんで、ミラクルライトをつけたり、けしたり。クスクスと笑いながら何か独り言を言っている娘。母ちゃんと二人で部屋の外からこっそり見守っていたのです。当時オマケ付きの映画の親子前売り券が2000円だったと思います。たったの2000円で娘を、そして家族をもこんなにも幸せにしてくれるプリキュアって何てすごいんだろう、と思ったものです。そんな娘も次第にプリキュアを観なくなりました。ちょっとさみしかったけど、これはまあ仕方がないのですよね。無事、成長している証です。プリキュアは、娘に、そして家族にたくさんの、本当にたくさんの笑顔くれました。いわば、娘と家族の「笑顔の恩人」です。過去と、今と、未来の、女の子と、父と、母。その笑顔のためにも、プリキュアというアニメはずっと続いてほしいと思います。娘が、プリキュアの背中に追いつきました。オシマイダー（敵）に怯えて私の小指をぎゅっと握っていた小さな手はいつのまにか、大きな手になっていました。おせっかいな娘の事です。いつかきっと世界を救いに行っちゃうのでしょうか。これから先の人生で恐ろしい敵が待ち構えているかも知れません。でも大丈夫。プリキュアのように人生の途中でたくさんの、素敵なお友達に出会えるのです。友達とケンカなんかしちゃったり、それでもすぐに仲直りしちゃったり。いつのまにか、互いにかけてえのない大切な存在になっているのです。その友達といっぱい、いっぱい思い出を作りながら、ほんの少しの涙とたくさんの笑顔で、世界を救ってください。父ちゃんは母ちゃんと一緒に、お家でご飯を作りながら、無事に帰ってくるのを待っています。

ようやく

松井 宣和（製造部）



新車を購入して通勤のみで1日往復10キロ県外にも出てなく名古屋市内ばかりをウロウロしている。名古屋高速を1度だけ乗ったきりで、ようやく1年と半年で走行距離6000キロ。コロナの影響でどこにも出かけていなかったが、今回の夏季休暇では東北地方に行く段取りをしていたが、直前の集中豪雨や台風の影響で予定変更をし、山口県に行くことに。高速道路夜間割引を使い20時30分に近所のコンビニで食料買い込み、情報収集して出発。伊勢湾岸名港潮見インターから新名神→山陽道→中国道美称インター（山口県の中心ぐらい）を降りて北上して日本海沿岸に出て、ここから山口県の海岸線を左回りで回る段取りで、竜宮の潮吹きを7時に到着。岸壁に波汐がたたきつけられると岩穴から30メートルの潮が上がるとか???強風の…時かな?当日の天気予報は曇り降水確率30%で微妙な天気でしたが、時間がたつにつれて晴れ渡りいい天気。直射日光に当たると皮膚が焼けるし熱いし痛い。高台にある駐車場から降りて向かう。竜宮の潮吹きまで赤鳥居が続き周りを囲む木々の緑とさらに向こうに見える海の青海の3色で素晴らしい景色でした。角島大橋へ行き記念撮影。テレビCMで見かけます。本土から角島まで直線的な長い橋が特徴です。せっかくなので一応橋を渡り即Uターンして近くの道の駅へ。浦街道豊北に9時着。早く着きすぎたので仮眠。10時オープンレストランのわくわく亭1番人気で、おまかせ海鮮丼を満喫して、土産買いこみ次の目的地へ。福德稲荷神社は千本鳥居と大鳥居で有名できれいなところで、高台から見える広がる海がきれいなところでした。次に本州最西端の毘沙の鼻へ。先端なので海はパノラマで、高台にあるのでなおさらです。最後に本州最西端の証明書を購入しようと下関へ市内に近づくと道が混み始め、まったく動かない。信号機が何回か青信号になっても…。あきらめて帰宅することに。後から調べたら花火大会の開催日だとわかりました。またいつの日か通りかかったらよりたいです。

お彼岸とは？お盆との違いは？

どちらもご先祖様を供養する行事ですが、

お彼岸は現世とあの世の距離が最も通じやすくなる春分、秋分の時期に、

こちら側から近くまで行きご先祖様を供養する行事

お盆は新暦の8月15日を中心に、ご先祖様の霊を迎え入れ供養する行事という違いがあります



期 間

2023年 春彼岸入り	3月18日(土)	秋彼岸入り	9月20日(水)
中日(春分の日)	3月21日(火)	中日(秋分の日)	9月23日(土)
2023年 春彼岸明け	3月24日(金)	秋彼岸明け	9月26日(火)

おはぎとぼた餅の違い

春彼岸に食べるのを「ぼた餅」、秋彼岸に食べるのを「おはぎ」と呼びます。

ぼた餅は「牡丹餅」、おはぎは「お萩」

春に咲く牡丹と秋に咲く萩の花にちなんでいるそうです。

昔から自然とともに暮らしてきた日本人らしい発想ですね。



還暦を目の前にして…

大見 延子 (総務・経理)



2020年より名古屋大学医学部附属病院でパーキンソン病の臨床研究の為検査を受けております(10年間無償)きっかけは、だいどうクリニックでの健康診断の問診票と一緒にアンケートがありそのアンケートを元に50代の健康女性という事で選ばれたようです。検査内容はPET検査の1種類であるアイソトープ検査(脳と心臓)を中心に嗅覚・聴覚・認知機能・高次機能・心電図・血液などの検査を3日間に分けて検査します。パーキンソン病の方が認知症になりやすいそうです。検査した脳の画像は教科書に載せてもいいほど鮮明に映っていますと言われました。島津製作所(ノーベル賞で有名な)の協力によって、少量の血液からアルツハイマー型認知症の原因とみられるたんぱく質「アミロイドβ」が測定できます。この蓄積はアルツハイマー病を発症する20~30年以上も前から始まるため、アルツハイマー病を早期診断する上で重要になります。測定の結果、数値的には将来認知症になる可能性は低いとの事で、ほっとしました。認知症は、嗅覚検査によって早期発見が可能であることから認知症発症の早期診断・早期治療を可能にするそうです。嗅覚の検査では若い方でも判らないほどの微かな匂いも嗅ぎ分ける事が出来たので、先生も感心していました。去年よりも検査の結果が良いという先生の言葉に自信が持てました。還暦を目の前にしてこれからの人生について考えさせられる機会がありました。これを機に健康で心も身体も元気でいられる情報にアンテナを張りながら…。自分に合う食事・運動など色々、取り入れて健康で長生きが出来るように何事にも好奇心を忘れずに、感謝の気持ちと笑顔で楽しく毎を送りたいと思います。

